

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着 ・思考力・判断力・ 表現力の育成 (話す聞く能力・書く 能力・読む能力) ・主体的に学びに向かう 姿勢の育成 	<p>本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 54.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年生は全国学力・学習状況調査の結果において、全国平均より「言葉の特徴や使い方に関する事項」は1.1ポイント、「話すこと・聞くこと」は0.6ポイント、「読むこと」は1.3ポイント上回ったが、「書くこと」は2.3ポイント下回った。特に、条件に応じて説明する設問では無回答が16%と課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句、古典の現代仮名遣い等の基礎知識等、授業内で学習の時間を設けるとともに、小テストを定期的に行うことで、学習の定着を図る。 ・複数の教材を比較読みさせる機会を設け、それぞれの文章の要点や表現の特徴に気づかせる指導を行う。また、自分の考えを言語化する学習を定期的に行う。特に、条件付きの作文課題に関しては、課題意図を意識した上で取り組ませる。これらの学習を通して、思考力・判断力・表現力を伸長する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着 ・思考力・判断力・ 表現力の育成 ・主体的に学びに向かう 姿勢の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組む生徒が多く、三分野(地理・歴史・公民)を関連づけて考える力が伸びている。 ・自分の考えをまとめたり、表現したりする部分がやや弱い。 ・一時的な知識は定着するが、持続的な知識の定着がまだ弱い部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した教材教具の活用や授業プリントの工夫、様々な小テストの実施により、知識の定着を図る。 ・発問や振り返りを大切に、三分野の関連性を大切にした授業展開を引き続き継続して行う。 ・授業プリントを工夫し、思考・判断・表現力を伸長する。 ・様々な小テストや暗唱テストを行い、知識の定着を図る。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の基礎・基本となる事項を理解し、知識として確実な定着を図る態度を育成する。 ・事象の変化や対応の特徴を見だし、図や表、式、グラフを相互に関連付けて表現できる力を育成する。 ・論理的に考え、手順をしっかりと説明できる力を育成する。 	<p>本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 44.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年生はマイアセス CBT の結果では、全国平均正答率を6.7ポイント下回り、基礎的・基本的な計算の定着に課題がある。 ・8年生はマイアセス CBT の結果では、全国平均正答率を1.8ポイント下回り、基礎的な知識・理解や技能は、概ね定着しつつあるが、数学的な思考力・判断力・表現力の習熟に課題がある。 ・9年生は全国学力・学習状況調査の結果では、全国平均より「数と式」は5.3ポイント、「図形」は5.3ポイント、「関数」は2.6ポイント、「データの活用」は2.7ポイント下回った。「数と式」、「関数」の知識の定着に課題がある。また、文字を使っての説明や図形の証明などの問題で無回答の生徒が3割程度おり、記述式の問題にも課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別少人数授業を展開し、複線型授業やICTの活用により、個別最適な学習を行うことで、基礎的・基本的な知識、技能の定着を図る。また、与えられた課題を、図や表、式、グラフを活用し、筋道を立てて考えたり、演繹的に説明したりすることで思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ・毎時間授業の始めに、計算ドリル演習を行い、基礎学力の定着を図る。 ・「関数」についてより定着を図るため、「関数」が実際にどのような役立つかを具体的にイメージできるように、生徒が日常生活で遭遇する事象についての問題を扱うとともに、問題解決では複数の解法を考えさせるなど解決過程を重視する。

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校
令和7年度 授業改善推進プラン

理科	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着、理科実験に必要な技術の習得 ・見通しを持って実験を行うための思考力・判断力の育成 ・得られた結果を他者に伝える表現力の育成 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 本校における全国学力・学習状況調査 平均 IRT スコア 470 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・化学変化を原子や分子のモデルで表すことができていない。 ・7年生の分野が定着していない。 ・分野ごとの得意不得意によって正答率にばらつきがある。 ・実験を行う目的を自ら見出すことを苦手としている。 ・問題を読み取り、思考し表現することを苦手としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験やICTを積極的に活用して、興味関心を高めることで、得意不得意の差を減らす。 ・様々な組み合わせで実験を行うことで、積極的に参加する体制にする。 ・課題を一人で考えた後、グループ活動するなど教え合いから、外へ発信する表現力を育む。 ・多面的に課題を考える機会を増やす。
音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を通して、知識や技能を得ながら創意工夫をする力。 ・「思考力」「表現力」の関係性を大事にした音楽の力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱等表現の活動において、曲想に応じた表現を苦手とする生徒が多い。表現をするために必要な強弱、リズム等の音楽を形づくっている要素の理解が十分ではない。 ・鑑賞活動では形式、構成、速度等の音楽を形づくっている要素を感じ取り、自分なりの根拠をもとに聴き取ることを苦手とする生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強弱、リズム等の音楽を形づくる要素を知識・技能の両面から理解するため、プリント学習と並行して楽譜を読み取り、表現し合う活動を取り入れる。 ・鑑賞活動では、導入の授業において、聴くポイントを明確にして、楽曲の興味につなげる。さらにまとめの授業で行っているその曲を紹介する紹介文において作曲者の思いを深めることにつなげていく。
美術	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力の育成。 ・作品の発表と鑑賞を通じて、自身の考えを他人に伝え、他者の表現への理解も深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動では課題理解や、作品のコンセプトや制作プランについての構想が十分ではない生徒がいる。 ・鑑賞においては思考や表現についての言語化に戸惑う生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動においては、課題導入やプラン作成の段階で生徒と対話し、生徒の課題理解や表現のコンセプトについて考えを深める。 ・鑑賞活動では生徒同士で意見を出し合い、より深い学びへつなげていく。
保健体育	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・身体活動を通して、ルールの順守や仲間との協力、基本的な運動習慣を身に付けるとともに自主自律の意識を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に持久力に課題がある。その他の種目も全国平均に比べると低いものもあるが、学年や性別により結果はまちまちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目において毎回ミニゲームを行い楽しみながら基本的な運動習慣を確立していく。学習カードや相互評価を行いながら、仲間と協力して一つの課題を解決していく能力を養う。

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でデザインや工夫等を考えたり、自信をもって作業に取り組んだりすることに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と技術について基本的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付けるようにする。 ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
外国語（英語・国際）	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識（文法、語彙）の定着 ・思考力・判断力・表現力の育成（特に、場面や目的に応じて客観的事実や自分の意見・考えを英文にまとめる力） ・主体的に学びに向かう姿勢の育成（特に、即興で発話・会話しようとする姿勢） 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> マイアセス CBT 平均正答率 76.6% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、全観点、ほぼ全領域において区平均を上回った。結果によると、7学年は特に書く力が高く、8学年は全領域における力が高く、9学年は聞く力が高い。一方で、9学年は書く力に課題がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 令和6年度 ESAT-J Y1,2 平均目標達成率 91.9% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・Year 1,2ともに、10ポイント以上、都の目標達成率を上回った。 ・Part D（3枚のイラストについて順番に説明する問題）において、2つ以上のイラストについて説明ができたのは現8学年が全員であったのに対して、現9学年は約7割にとどまっており、場面に応じて適切な文法や語彙を用いて表現する力に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、引き続き言語活動を積極的に行い、単元ごとにテストを行うことで基礎の定着を促す。 ・7 学年：会話全体の内容を理解する力および語彙理解の力を伸ばすため、話す活動のまとめとして書く活動をし、教科書本文全体の内容をとらえる活動として Q&A や要約を行う。 ・8 学年：場面に適した文法や語彙を用いて表現する力を伸ばすため、自由作文の時間を増やす。 ・9 学年：長文読解、作文の力を伸ばすため、教科書本文の Q&A や要約の時間を増やす。また、国際科において教科書以外の英文を扱った授業や、聞いた内容を英文にまとめる活動を行う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的判断力 ・道徳的实践意欲 ・自他との対話を通して道徳価値観を形成する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な視野で物事を捉えたり、他者の視点も踏まえて行動したりすることに課題がある。 ・他者の意見をふまえて自身の考えを深めることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前アンケートを実施し、結果を授業の冒頭で提示することで、多様な価値観を示し、多角的に思考する場面をつくる。 ・当事者意識をもちやすい発問を心がける。 ・意見交換がしやすい学級づくりを心がける。 ・ICT を活用した意見共有の場を設ける。

港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校
令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考え行動し、さらによいものにできるよう話し合い実行できる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって計画を立てることが少ない。 ・想定外なことに対して、軌道修正などによる対処がうまくいかないことが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって計画を立てられるように、関係する材料の収集や提示をスムーズに行うとともに、着地点を意識した逆算型で計画を練られるように工夫する。 ・実行したことを調整・改善し、今後よりよいものにするために検討する機会を作り指導する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの担い手として必要な能力の育成。 ・主体的に取り組む姿勢の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年のテーマに沿って、主体的に学習に取り組んでいる。また、「子ども服の回収」やボランティア活動などにも積極的に取り組む生徒が多い。 ・学校生活においてのみではなく、自分の実生活全体で「自分ができること」に対する取り組みではまだやや弱い部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3か年を見通した、各学年の学習テーマを設定し、継続的・発展的な学習活動を行う。 ・STEAM教育を行うことで、学習をより深めるとともに、自分ごととして捉え、日々の生活で継続的な取り組みが行えるようにする。